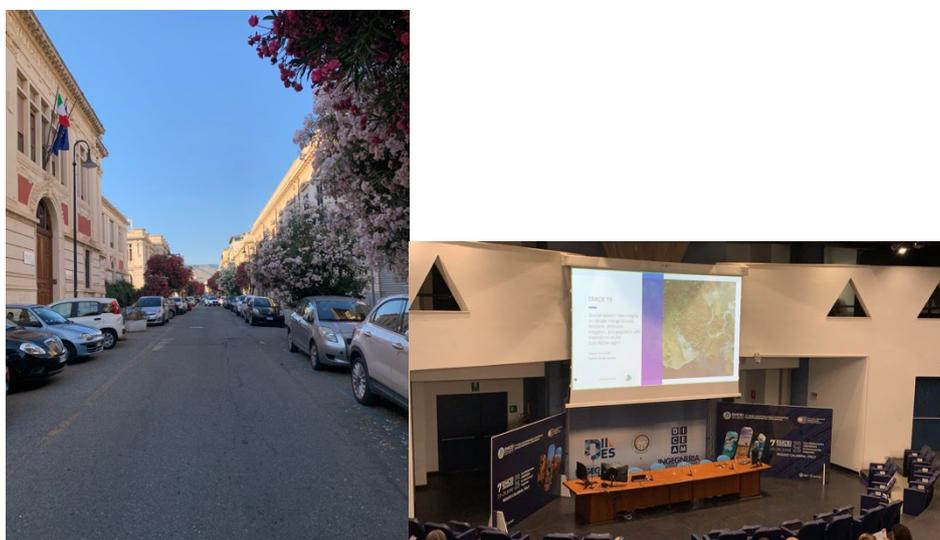


沿岸防災・環境分野の日向博文先生・笠毛健生研究員・古川紘子研究補助員らの研究グループがイタリアで開催された「7th Euro-Mediterranean Conference for Environmental Integration (EMCEI)」において「Best Paper Award」を受賞しました【6月25日(水)】。発表内容は、日本全国の海岸利用者が出すプラごみ量を、観測(プラごみ発生原単位)と携帯ビッグデータに基づいて推定したものです。なお、EMCEIは、2025年6月23日(月)～6月26日(木)、the Congress Centre of the Department of Civil, Energy, Environmental and Materials Engineering (DICEAM) of the University Mediterranea of Reggio Calabria in Calabria, Italyで開催されました。今年のEMCEIには、86カ国から460人が参加しました。申し込みのおよそ80%が採択され発表されました。次回は、モンペリエ(フランス)もしくはグダニスク(ポーランド)で2026年7月に開催予定です。



レッジョ・デ・カラブリアの街並み(左)とEMCEIのメイン会場(右)



表彰状